



へ13
3060

3060

くろい
どん
かろく
まほり

怪談鳴見見

南北作 国貞画

辛卯春 山本板

金

色いろのいろ好このままのま王おうのの金かね底ぞこるるままとと吉よ田し兼かね好このまま
 つれつれ草くさののままししももひひぬぬるるるる形かたちりりととけけくくまま歌うた集あはりり
 色いろのいろ身みととああままるる其その身みのの帝みかどかかややままのの邪よこしま色いろ
 津つのの産うぶ鳴な見み何なに某あつととああままるる一ひと婦めづ女むすめのの接せ川がわのの早はや瀬せ
 浮う名なををままるる一ひと海うみ川がわ解げ脱だつ四よ谷やのの勝かちままるる怪あや談なりりとと久く
 世よのの噂うわさををままるる其その昔むかし語ことばはは有ありり本ほん松まつ紋いのの漆し色いろ乃なり
 蚊か帳やがが淵ふちのの洗せん濯たくわのの岩いわ倉くらのの後のち篇はとと綴つづりり鳴な見み
 紋いとと題だいとと知しのの年としのの新あたら版しん六む卷まきのの双ふた帝みかどとと六むかかりりぬ

文政十四年卯春發行
天保二年

東都辰巳の住
黒船山人南老述





香川嘉市の
伴次郎の
魂



長瀬
磯場
鳴見
四郎
太郎

嘉市妻の
才
親子
は
天

元祖
 仲藏
 信夫賣
 浄瑠璃
 男の
 女
 顔替
 の
 身
 圖

お座嵐雛次



野分坊
 吳中
 村仲藏

山下金作

久松市川門之助







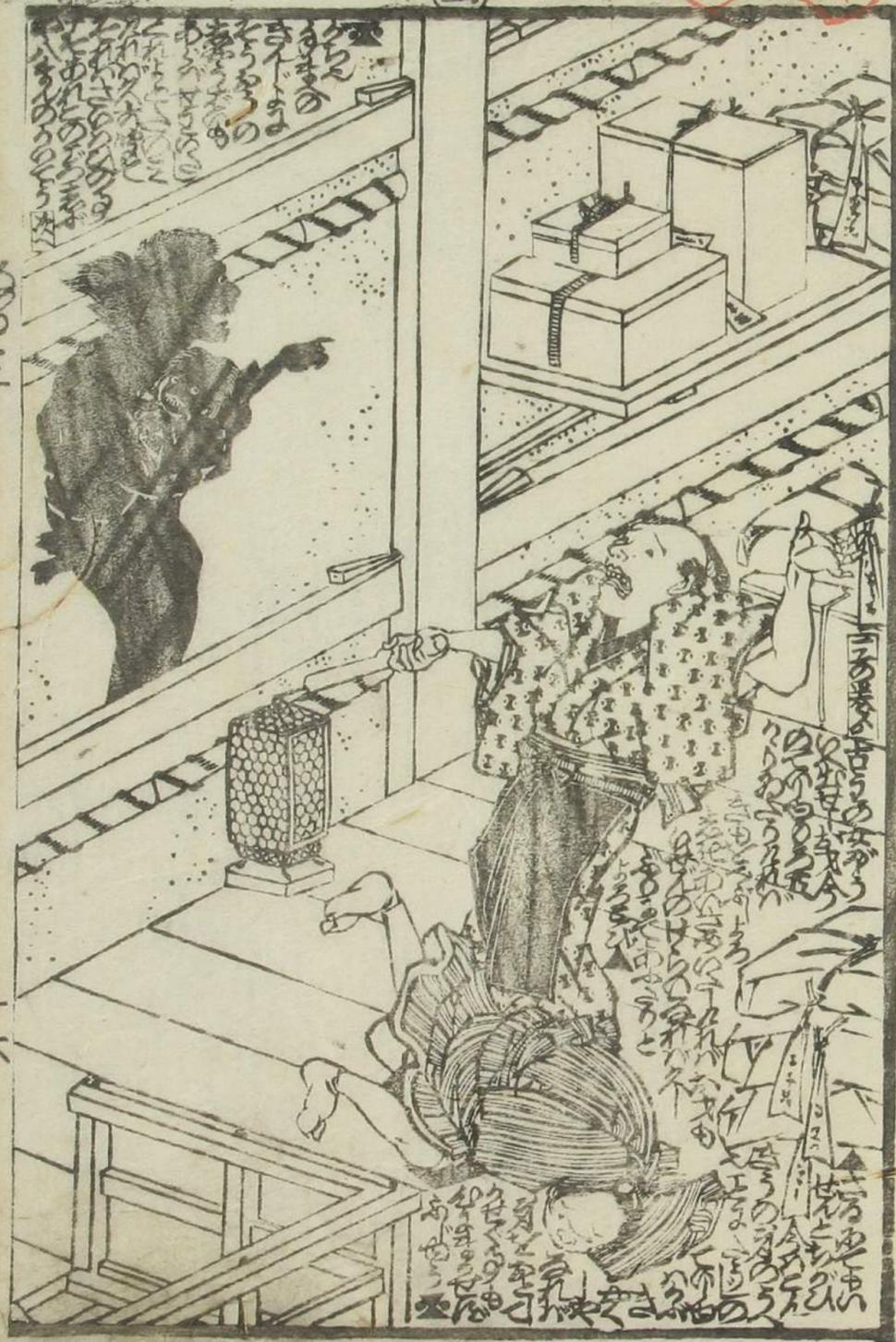






金剛

四



鶴屋南北作
五渡亭國貞画

如意吉祥

怪談鳴見絞

全六册

文政十四年

辛卯

孟春

山本平吉梓

江戸町親父橋角

















